

ISO 感度の設定には注意してください。

撮影時に絞りを開くと入射光量が増えます。

花の写真はピントのあった部分とぼけた部分の分量や色合いの兼合いが大切です。

絞りの活用でレンズの違いでボケ味をコントロールすることが出来ます。



100mm 絞値 F4.0



200mm 絞値 F8.0

望遠レンズやマクロレンズは至近距離で撮影する時に絞りを絞っても殆んど深度に変化がないレンズもあります。

至近距離専用マクロレンズと至近距離から∞までピントが合うマクロレンズの2種類のレンズあります。

主役となる被写体の位置は画面の対角線上に合わせてピント合わせをする。

ボケの良し悪しはカメラ位置（目線）で被写体の背景の写り方も変わります。

カメラ目線をアングルと言いレンズの位置を変えて撮影する事を言います。

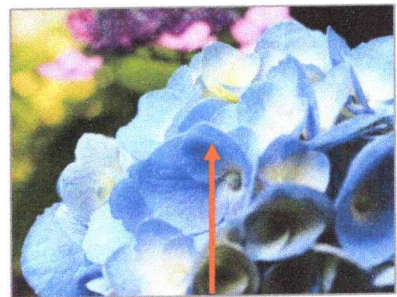
三脚を利用してカメラを上下させた撮影でアングルを変えると言います。

参考写真

A=やや上から俯瞰

B=カメラ水平で撮影

C=やや下から撮影



50mmF4.0 ISO 感度 200 シャッタ秒時 AUTO

A=カメラ位置が高いと奥が写り込んで花の後ろの枯れ草等が写ります。

B=普通に撮影する位置です。大きな花等は平たく立体感の薄い感じに写ります。

少し左右にカメラ位置をずらして立体感を出してみましょう。

C=低くなると前方が大きく奥が写りません。強調して写したい時や青空に一輪写したい時に良く使われる撮影方法です。